

第15回 びんご多文化共生連続ワークショップ

ZOOM meeting

日時：2021年12月5日(日)9:30~12:00
定員：100人 参加費：無料(事前申込が必要です。)
申込締切：12月1日(水)
参加方法：web 会議システム (ZOOM)

外国人高齢者の支援と 地域コミュニティについて考える

きのしたたか お
講師：木下貴雄 さん
〔講師プロフィール〕

「外国人高齢者と介護の橋わたしプロジェクトチーム」代表
「あいち多文化ソーシャルワーカーの会」代表
中国帰国者公墓「平和の碑」管理委員会副委員長
愛知県立大学非常勤講師

中国からの引揚者で認知症が進み日本語を忘れた父の介護をする中で、言葉が通じない介護の大変さを痛感し、2014年から「外国人高齢者と介護の橋わたしプロジェクトチーム」を発足し、専門知識を持った中国語介護通訳の養成とボランティア派遣に取り組む。



かわもとなお え
講師：河本尚枝さん
〔講師プロフィール〕

広島大学大学院
人間社会科学研究科 准教授



長年、医療通訳や在日外国人の社会保障に関する研究を行っている。広島県で開催される「中国残留日本人の体験を聞く会」では、満洲移民の歴史講座を担当し、広島に住む高齢中国帰国者の傾聴活動にも携わる。2019年出版の陸傳傑著『日本統治下の台湾』を翻訳する。

日本では、在日外国人の定住化と永住化に伴い、外国籍住民の高齢化が増えている。1990年代には、戦前から日本に住んでいる在日コリアンの高齢化によって、これまで在日外国人が長年社会保障制度からの排除されてきた実態が明らかにされた。2000年に施行された介護保険法は、国籍を問わない制度であるため、在日外国人高齢者が利用できる。しかし、制度があっても、高齢外国籍住民がサービスを利用するには、言語や習慣の違いにより、躊躇する人たちが多いという。多文化の背景を持つ高齢者が、地域で介護や医療サービスをスムーズに利用できるようにするには、何が必要だろうか。コミュニティは何が提供できるだろうか、お二人のお話から福山市でできることを一緒に考えませんか。

■申込方法：右上のQRコードを読み取ると、申込みのページが表示されます。⇒
つぎのURLからでも、申込みのページにつながります。
<https://bit.ly/3Gfy7gV> 参加のためのURLは12月2日に送信予定です。



■参加にあたって：

あらかじめZOOMアプリをインストール(無料)していただくと便利です。
インストール済みの方はバージョンアップをお願いします。
参加に係わる通信費については、参加者ご自身の負担になります。

共 催：びんご多文化共生研究会、
福山市立大学教育研究交流センター、広島県、
びんご日本語多言語サポートセンター「びるど」、
科学研究費「日系高齢マイノリティの『その人らしい暮らし』を
支援するための基礎研究」(基盤研究(C)18K02104)

後 援：中国新聞備後本社、エフエムふくやま

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

